

令和2年5月26日（れいわ2ねん5がつ26にち）

緊急事態宣言（きんきゅうじたい せんげん）が おわりました 兵庫県（ひょうごけん）の みなさんへ

昨日（きのう）、政府（せいふ）は 東京（とうきょう）や 北海道（ほっかいどう）の緊急事態宣言（きんきゅうじたい せんげん）を やめました。これで 日本全国（にほんぜんこく）の 緊急事態宣言（きんきゅうじたい せんげん）が おわりました。

兵庫県（ひょうごけん）で 新（あたらしい）しいコロナウイルスに かかった（ひと）は 5月17日（5がつ17にち）から ずっと 0人（にん）です。兵庫県（ひょうごけん）の みなさん、店（みせ）や 会社（かいしゃ）の みなさん、ほんとうに ありがとうございます。

兵庫県（ひょうごけん）は ウイルスに 気（き）をつけながら 経済（けいざい）を また 始（はじ）めるために 2つのことを 決（き）めました。

- (1) 少（すこ）しずつ 外（そと）に 出（で）てもいいです。少（すこ）しずつ 店（みせ）や 施設（しせつ）を 開（あ）けてもいいです。
- (2) 「ひょうごスタイル」を します。「ひょうごスタイル」は 兵庫県（ひょうごけん）の 新（あたらしい）しい生活（せいかつ）の 方法（ほうほう）です。

「ひょうごスタイル」

- ① ウイルスに 気（き）をつけながら 生活（せいかつ）を します
- ② ウイルスに 気（き）をつけながら 仕事（しごと）を します
- ③ 地震（じしん）や 台風（たいふう）のとき ウイルスが 広（ひろ）がらないように 準備（じゅんび）を します

これから ウイルスの 2回目（かいめ）の ピークが 来（く）るかもしれません。兵庫県（ひょうごけん）の みなさんは これからも ウイルスが 広（ひろ）がらないように 協力（きょうりょく）してください。

1. 兵庫県（ひょうごけん）の みなさんへ

- できるだけ うちに いてください。6月18日（6がつ18にち）まで 東京（とうきょう）、埼玉（さいたま）、千葉（ちば）、神奈川（かながわ）、北海道（ほっかいどう）などに できるだけ 行（い）かないでください。そして 人（ひと）が 多（お）い場所（ばしょ）に できるだけ 行（い）かないでください。
- たくさんの人（ひと）が 近（ちか）くで あつまったり 話（はな）したりする場所（ばしょ）に できるだけ 行（い）かないでください。「ひょうごスタイル」を して ウイルスに かからないように 気（き）を つけてください。

2. 店（みせ）や 会社（かいしゃ）の みなさんへ

- 店（みせ）や 施設（しせつ）を 開（あ）けるときの ウイルスが 広（ひろ）がらないように 気（き）を つけてください。兵庫県（ひょうごけん）の 「感染拡大予防（かんせん かくだい よぼう）ガイドライン」を 見（み）てください。
- イベントを するとき ウイルスが 広（ひろ）がらないように 気（き）を つけてください。たとえば、お客（きやく）さんを 少（すく）なくしてください。
- 会社で 仕事（しごと）を するとき できるだけ たくさんの人（ひと）が 近（ちか）くで あつまったり 話（はな）したり しないでください。できるだけ うちで 仕事（しごと）や 会議（かいぎ）を したり、交代（こうたい）で 会社（かいしゃ）に 行（い）ったり、会社（かいしゃ）に 行（い）く時間（じかん）を 変（か）えたり してください。

ウイルスに 気（き）をつけながら 社会（しゃかい）や 経済（けいざい）の 活動（かつどう）を また 始（はじ）めたいです。いっしょに がんばりましょう。よろしくおねがいします。

兵庫県知事（ひょうごけんちじ） 井戸 敏三（いど としぞう）

ひょうごスタイル

新(あたらしい)しいコロナウイルスが 広(ひろ)がらないように
「ひょうごスタイル」を します

I 毎日(まいにち)の 生活(せいかつ)

1. ウイルスと いっしょに 生(い)きるための 習慣(しゅうかん)
 - (1) 新(あたらしい)しい空気(くうき)が 入(はい)らない場所(ばしょ)で たくさんの人(ひと)が 集(あつ)まったり 近(ちか)くで 話(はな)したりしないようにします。
 - (2) 人(ひと)と 1mか 2mぐらい はなれます。できるだけ 2mはなれます。
 - (3) マスクを します。咳(せき)を するとき まわりの人(ひと)に かからないように します。
 - (4) 手(て)を 洗(あら)います。せっけんを 使(つか)って 30秒(びよう)ぐらい よく 洗(あら)います。消毒(しょうどく)を します。
 - (5) 体温(たいおん)と 健康(けんこう)に 気(き)を つけます。熱(ねつ)や 風邪(かぜ)のとき うちで 休(やす)みます。



2. 生活(せいかつ)の 中(なか)で 気(き)を つけること

- (1) 買(か)い物(もの)
 - インターネットで 買(か)い物(もの)を します
 - カードや アプリなど キャッシュレスで 払(はら)います
 - 店(みせ)の 物(もの)に 触(さわ)りません
 - レジに 並(なら)ぶとき 他(ほか)の 人(ひと)と 離(はな)れて 立(た)ちます
 - 一人(ひとり)か 少(すく)ない人数(にんずう)で 行(い)きます
 - 人(ひと)が 少(すく)ないとき 行(い)きます
 - はやく 買(か)い物(もの)を して すぐ 帰(かえ)ります
- (2) 電車(でんしゃ)や バスで
 - たくさん 話(はな)しません
 - 人(ひと)が 多(おほ)いとき 乗(の)りません
 - 近(ちか)くに 行(い)くとき 歩(ある)いたり 自転車(じてんしゃ)に 乗(の)ったりします

(3) 食（た）べるとき

- 店（みせ）で 買（か）って うちで 食（た）べます
- 店（みせ）から 料理（りょうり）を とどけて もらいます
- コップや グラスを 他（ほか）の 人（ひと）と いっしょに 使（つか）いません
- 横（よこ）に 並（なら）んで 座（すわ）ります
- たくさん 話（はな）しません
- お皿（さら）を 他（ほか）の 人（ひと）と いっしょに 使（つか）いません。料理（りょうり）は 一人（ひとり）ずつ お皿（さら）に 分（わ）けてから 出（だ）します。

(4) さんぽやスポーツ

- 人（ひと）が 多（おほ）い公園（こうえん）に 行（い）きません
- トレーニングや ヨガは うちで します
- たくさんの人（ひと）と いっしょに ジョギングを しません
- 前（まえ）から 人（ひと）が 来（き）たとき その人（ひと）と はなれて 通（とお）ります
- 予約（よやく）できる施設（しせつ）を 使（つか）います
- 歌（うた）うときや 応援（おうえん）するとき 人（ひと）と はなれて したり オンラインで したりします

(5) 結婚式（けっこんしき）や お葬式（そうしき）

- たくさんの人（ひと）と いっしょに 食（た）べないようにします
- 熱（ねつ）や 風邪（かぜ）のとき 結婚式（けっこんしき）や お葬式（そうしき）に行（い）きません

II 働（はたら）きかた

- うちで 仕事（しごと）を します
- 他（ほか）の 人（ひと）と 交代（こうたい）で 仕事（しごと）に 行（い）きます
- 電車（でんしゃ）や バスが すいている時間（じかん）に 会社（かいしゃ）に行（い）きます
- インターネットや 電話（でんわ）を 使（つか）って 会議（かいぎ）を します
- 人（ひと）と 話（はな）すとき マスクを します。部屋（へや）の 窓（まど）や ドアを 開（あ）けて 新（あた）らしい空気（くうき）を 入（い）れます
- 熱（ねつ）がある人（ひと）や 体（からだ）の 具合（ぐあい）が 悪（わる）い 人（ひと）は 仕事（しごと）に 行（い）きません
- たくさんの人（ひと）が 集（あつ）まったり 近（ちか）くで 話（はな）したり しないようにします

Ⅲ 地震（じしん）や 台風（たいふう）の ための 準備（じゅんび）

1. 地震（じしん）や 台風（たいふう）のとき 避難所（ひなんじょ）で ウイルスが 広（ひろ）がらないように 気（き）を つけなければ なりません。そのための ガイドラインを 5月（がつ）の おわりに 作（つく）ります。
2. 複合災害（ふくごう さいがい）の ための 準備（じゅんび）
 - ・ 複合災害（ふくごう さいがい）は 地震（じしん）や 台風（たいふう）のとき ウイルスが 広（ひろ）がることです。
 - ・ 複合災害（ふくごう さいがい）のとき 避難（ひなん）する場所（ばしょ）や 避難所（ひなんじょ）での 対応（たいおう）を 兵庫県（ひょうごけん）や 市（し）、町（まち）が いっしょに 準備（じゅんび）しておきます。
 - ・ 避難（ひなん）するとき 「マイ避難（ひなん）カード」や 「ひょうご防災（ぼうさい）ネット」アプリを 使（つか）います。